

駆け込み乗車しない／線の内側に整列／降車が優先

北九州高速鉄道（北九州市小倉南区）は、外国人観光客を含む乗客に安全にモノレールを利用してもらうべく、動画生成AI（人工知能）を使った乗車マナーの啓発動画を製作した。増加する訪日外国人客（インバウンド）に対応する英語版もあり、10月から小倉駅構内で放映している。

同社が毎年実施する乗客アンケートでは、乗車マナーの改善などを求める意見が多く寄せられている。構内放送や車内ポスターなどで注意を促しているが、インバウンドの増加で日本語だけでは伝

モノレール乗車マナー啓発

北九州高速鉄道 生成AIで動画製作



小倉駅ホームの発車案内表示下に設置されたモニターに映し出された啓発動画

わらないこともあり、動画生成AIを手がける市内の企業「BOND」（小倉北区）が開発した「スマートアバター」のシステムを採用した。

システムは、画像やシナリオのテキストを「聞いて見て感じる情報」に取り込むだけで、3Dキャラクターが文面に合った表情や仕草で語りかける動画を生成できる。多言語にも対応し、これまでの「読んでも理解する情報」が「聞くよう促す▽降車が済

んでから乗車するよう求める――の3パターン。いずれも15秒で、それぞれ日本語版（英語字幕付き）と英語版（中国語字幕付き）の2種類がある。

小倉駅ホームの43台モニター4面と、ホームから改札口へ通じるエスカレーター脇の65台モニター8面で随時放映している。

北九州高速鉄道の柳瀬勉・総務課長は「3Dキャラクターが動いたり、表情豊かにしゃべったりすると、利用者も気になって見てくれると思う。乗車マナーの向上につながれば」と話している。